

現状	● 県立学校において長時間勤務を行っている教職員の割合【月45時間超】 R1:40%→R3:17% ※最繁忙月(4月)
課題	● コロナ禍で増加した教職員の業務負担の軽減 ● 職場環境の改善による教職の魅力回復



基本目標	「時間外在校等時間が月45時間・年360時間を超える教職員ゼロ」を目指す
対応	重点取組 ・ コロナ禍を契機に進んだ学校行事等の業務の見直しの継続 ・ デジタル技術や外部人材の積極活用、部活動改革の推進 ・ 「働き方改革」と「ふるさと教育」、「ICT教育」との一体的な推進

1 長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の推進

勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の推進

- 学校閉庁日の設定
 - ・ 退勤時刻を超える場合の申告の徹底及び上限時間を超えた場合の事後検証の実施

業務内容の不断の見直し

- デジタル技術の活用**
- ◎ 新学習指導要領に対応したデジタル教材の活用
 - ◎ 既存業務の負担軽減に向けた校務支援システムの機能拡充
 - ◎ 高等学校入学者選抜のWeb出願の検討
 - デジタル採点システムの活用(高等学校入学者選抜での活用検討)
 - 民間企業と連携して進めた校務のデジタル化の推進
 - 就職ガイダンスなど保護者向け各種説明会のオンライン化の推進
 - ICTの有効活用に向けた研修の充実、優良事例の紹介
 - ・ ICT学校改革担当指導主事の派遣
 - ・ オンライン学習支援システムを活用した学習支援のあり方の見直し(少人数指導、実習方法、7限授業等)

部活動指導に係る負担軽減

- 部活動改革**
- ◎ 部活動の在り方を見直し(①事務局に部活動改革係を設置、②部活動改革に係る方針の策定、③指導者養成研修の開催、④地域移行に向けたモデル事業の実施、⑤生徒・保護者等への周知、啓発)
 - ・ 部活動ガイドラインの遵守徹底並びに部活動指導員等の活用
 - ・ 学校規模に合わせた部活動数の適正化の推進

学校を支える体制の整備

- 外部人材の活用**
- コロナ対応を含む業務アシスタント等の外部人材の活用
 - ◎ 業務アシスタントを有効に活用するための手引の作成
 - ・ 地域と一体となった「ふるさと教育」の推進

2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

ハラスメント等の速やかな察知と解決

- ハラスメント防止対策の強化(管理職向け研修の充実等)

メンタル不調等の速やかな察知と解決

- 心身の疲労度やストレス状態等を可視化する計測機器の導入

3 働きやすい環境づくりに向けたマネジメント力向上と組織体制の確立

管理職等のマネジメント力の向上

- マネジメント能力やリーダーの資質向上に関する研修の充実
 - ・ 地域と一体となった「ふるさと教育」やICT活用に向けた管理職の意識改革

4 市町村教育委員会の取組に向けた支援・働きかけ

令和4年度の重点項目

- ◎ R5年度からの休日部活動の段階的な地域移行に向けた支援・働きかけ
 - ・ 教職員の業務量の適切な管理の促進(県内市町村での100%実施)
 - (①客観的手段による勤務時間の把握、②退勤時刻(午後7時以前)の設定、③退勤時刻を超過する場合の勤務内容の申告の徹底)

県の財政的支援・県事業による支援

- ◎ 休日部活動の段階的な地域移行に向けた方針の策定などによる支援
- 負担軽減のための人員配置の支援(小学校専科指導教員やスクール相談員の増員、スクールサポートスタッフや部活動指導員の配置など)
- ◎ 外部人材を有効活用するための手引きの作成及び活用の推進
- デジタル技術の積極的な活用に向けた支援(研修の充実、優良事例の紹介)

助言・働きかけによる取組の促進

- ◎ 学校事務の集約化の促進
 - ・ 学校行事の精選や標準時間数に基づく教育課程の見直し・改善の促進